

ミルウォーキー交響楽団首席トロンボーン奏者
Principal Trombone, Milwaukee Symphony Orchestra


GREENHOE
"Innovation in Design with the Finest Craftsmanship"

神田めぐみ Megumi Kanda

トロンボーンリサイタル 2024 Trombone Recital 2024

ピアノ／高良仁美
Hitomi Takara

● 広島公演

スペシャルゲスト・トロンボーン／若狭和良
(エリザベト音楽大学教授、元東京交響楽団首席奏者)

2024年9月8日(日)
14:00開演(13:30開場)

エリザベト音楽大学
ザビエルホール

全席自由 一般¥3,500 / 学生¥2,000
(当日券は各¥500アップ)

[共催：エリザベト音楽大学]

● 名古屋公演

2024年9月10日(火)
19:00開演(18:30開場)

電気文化会館
ザ・コンサートホール

全席自由 一般¥3,500 / 学生¥2,000
(当日券は各¥500アップ)

[後援：名古屋トロンボーン協会]

● 東京公演

2024年9月13日(金)
19:00開演(18:30開場)

Hakuju Hall

全席自由 一般¥3,500 / 学生¥2,000
(当日券は各¥500アップ)

【曲目】

ボザ：バラード
Eugene Bozza: Ballade

ラフマニノフ：チェロソナタより アンダンテ
Sergei Rachmaninoff: Andante from Cello Sonata in G minor op.19

スターク：2本のトロンボーンとピアノのための組曲
Bruce Stark: Suite for Two Tenor Trombones and Piano
(広島のみ)

ヨルゲンセン：組曲
Axel Jorgensen: Suite
(名古屋、東京のみ)

ダヴィット：小協奏曲
Ferdinand David: Concertino Op.4

アンドリュウ・マルケル：蝶々の歌
Andrew Markel: Butterfly Song

神田めぐみ：嘆き鳩～ Mourning Dove
Megumi Kanda: Mourning Dove

[チケット取扱]

イープラス <https://eplus.jp>

株式会社グローバル・企画営業部

03-5389-5111 concert@global-inst.co.jp

Megumi Kanda Trombone Recital 2024

若くしてトロンボーンの才能を発揮し、高校卒業後に渡米。クリーブランド音楽院を首席で卒業し、今や全米を代表するトロンボーン奏者として活躍中の神田めぐみ氏。
熱く美しい音色、そして彼女の持ち味の躍動感あふれる演奏をお届けいたします。



神田めぐみ Megumi Kanda

1975年名古屋生まれ。10歳よりトロンボーンを始める。13歳よりトロンボーンを三輪純生氏(NHK交響楽団、桐朋学園)に師事。1993年「第1回日本トロンボーン・コンペティション」第1位、日本吹奏楽協会会長賞受賞。1994年に桐朋女子高等学校音楽科を卒業後、渡米。クリーブランド音楽院にてジェームス・デサーノ氏(クリーブランド管弦楽団首席トロンボーン奏者)に師事。1997年に同音楽院を首席で卒業後、ニューヨーク州アルパニー交響楽団首席、ロチェスター・フィルハーモニー管弦楽団、及びイーストマン音楽学校講師を経て、2002年よりミルウォーキー交響楽団首席奏者を務める。

リサイタル、コンチェルトなどのソロ活動やマスタークラスなども精力的に世界各地で行っており、ミルウォーキー交響楽団、プラハ室内管弦楽団、米国軍楽隊などをはじめとする数多くの楽団とソリストとして共演している。委嘱作品も多く、国際トロンボーン・フェスティバルにも定期的にゲストとして招かれている。レコーディングでは、ビクター・エンタテインメントからソロ・アルバムが3枚とコンサートライブ録音の「マニフィーク・ライブ」がリリースされ、著書ではオーケストラ・スタディの教則本「The One Hundred」と総合的なメソッド「Trombone Unlimited」がアンコール出版社(Encore Music Publishers)から出版され、幅広く使われている。

これまでにアリオン音楽財団からアリオン奨励賞を受賞、また在シカゴ日本国総領事からも表彰され、2017年にはミルウォーキーで最も影響力のある女性としてビジネス・ジャーナル誌から表彰され、2020年には国際トロンボーン協会からトロンボーン界最高の栄誉であるITA賞を史上初の女性として受賞している。プライベートでは3男と3匹の猫の母としてホルン奏者の夫、ディートリヒと奮闘中。趣味は庭仕事。

【使用楽器：Greenhoe GC4-1R】

ピアノ／高良仁美 Hitomi Takara

東京を拠点にソロリサイタル、室内楽、CD録音など、多岐にわたる活動を意欲的に展開。ソロCDは3枚リリースされており、色彩豊かで躍動感溢れるリズム感、情熱的な演奏の《金井喜久子ピアノ曲全集・琉球カチャーシー》、知情意のバランス良く、リリカルな情感で魅力溢れる演奏と絶賛された《伊福部昭ピアノ作品集》は、ともにレコード芸術誌上で特選、朝日新聞や日本経済新聞で推薦盤として紹介され、ビルボードでも上位にランクインするなど、広く話題を呼んでいる。《瑞慶覧尚子ピアノ作品集・沖縄・夏の風景》もメディアに多く取り上げられ好評。

柔軟な感性で誠実な演奏は、多くの国内外の著名な共者から絶大な信頼を得ており、「作品的確な解釈と優れた構成力、豊かな感性で音楽的に融合できるピアニスト」と高く評価されている。共演CDも多数リリース。

宮崎国際音楽祭や国際ホルンフェスティバル in 山形、ラ・フォル・ジュルネ等の音楽祭にも出演、浜松国際管楽器アカデミーや日本フルートコンベンション、Forum Atrium(ドイツ)他、コンクールやマスタークラスの公式ピアニストも数多く務めている。また、NHK交響楽団や新日本フィルハーモニー交響楽団等、オーケストラの鍵盤奏者としても、多く客演している。

現在、尚美ミュージックカレッジ・ディプロマコースで管楽器のコレパティートルとして講師も勤める。

沖縄タイムス芸術選賞'02年度奨励賞、10年度大賞を受賞。



スペシャルゲスト・トロンボーン／若狭 和良 Kazuyoshi Wakasa (広島公演のみ)

広島県出身。血液型：B型。エリザベト音楽大学卒業。パリ音楽院(CNR)、パリ15区音楽院を一等賞で終了。第14回日本管打楽器コンクール第2位。

2000年～2005年、東京交響楽団首席奏者。現在、エリザベト音楽大学教授、ジャパン・エックスオートロンボーン・クアルテットメンバー、広島トロンボーンステージリーダー。

"INNOVATION IN DESIGN WITH THE FINEST CRAFTSMANSHIP" 最高の技術と革新的なアイデアで生まれた グリーンホートロンボーン



「グリーンホー・トロンボーンの魅力はそのピュアさにあります。

自分の表現したいことを無駄な努力をしなくてもそのまま表現させてくれるのです。

グリーンホーを使う前は楽器のバルブやスライド、チューニングスライドに重りをつけて音をフォーカスさせたり反応をよくさせたり、フォルティシモで音が割れないように調整をしていましたが、グリーンホーはそのまま完璧な楽器なのです。何も足さず何も引かない、そのままの状態でも鏡のように自分の表現したいことを反映してくれるのです。

薄いベルを使っているので振動もとてもよく究極のピアニシモから、力強いフォルティシモまで限界を知らずにフレキシブルについてきてくれます。

日々、究極の表現に挑む上でかけがえのない相棒になっています。」

神田めぐみ

